



2025年3月21日

街づくり委員会

- 日時： 3月21日（金）10時30分～
- 場所： 河原センタービル（3階会議室 大阪市中央区難波千日前 5-19）
- 内容：

1. なんば広場「まちなかミュージック」社会実験について
2. 駐輪自転車対策今後の取り組みについて
3. 神戸街づくり団体視察について
三宮中央大通りまちづくり協議会
サンキタ実行委員会
4. OSAKA 街の魅カマスターズスタンプラリーについて
5. その他
関西エアポート
御堂筋サテライトプラン 人中心の道路空間へ～みちの未来体験 EXPO～
5月開催の「Art Walk 御堂筋」花摘み・花絵制作ボランティア募集

●今後の開催予定

【街づくり委員会】

4月17日（木）10：30～ 河原センタービル 会議室

【企画委員会】

3月27日（木）15：00～ 河原センタービル 会議室

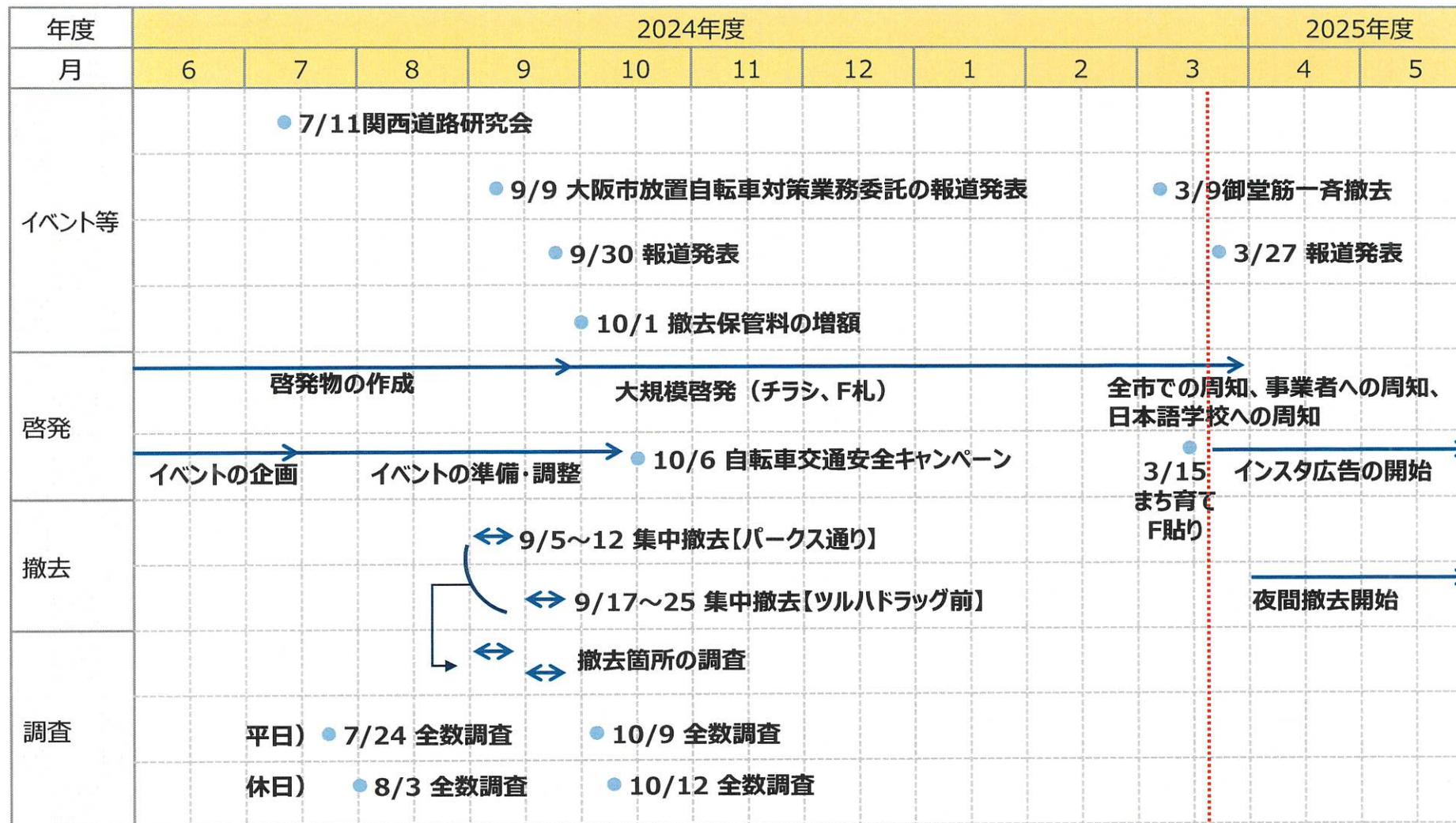
4月24日（木）15：00～ 河原センタービル 会議室

役員会

3月24日（月）15：00～ パークスタワー7階 会議室

以上

昨年度と同様に、啓発・撤去・調査の3本軸で放置自転車対策を継続

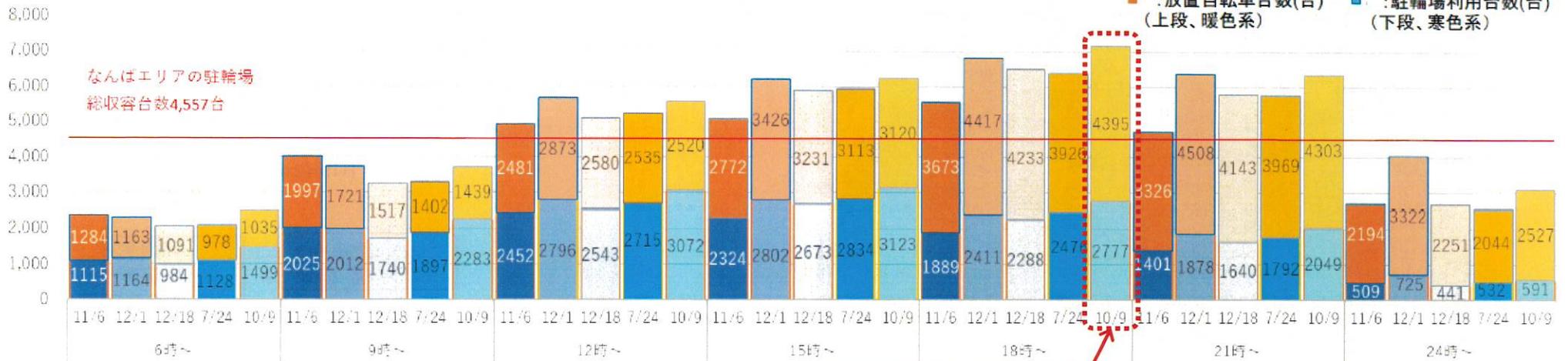


10月上旬に実施した調査では、放置自転車台数が多い時間帯で微増

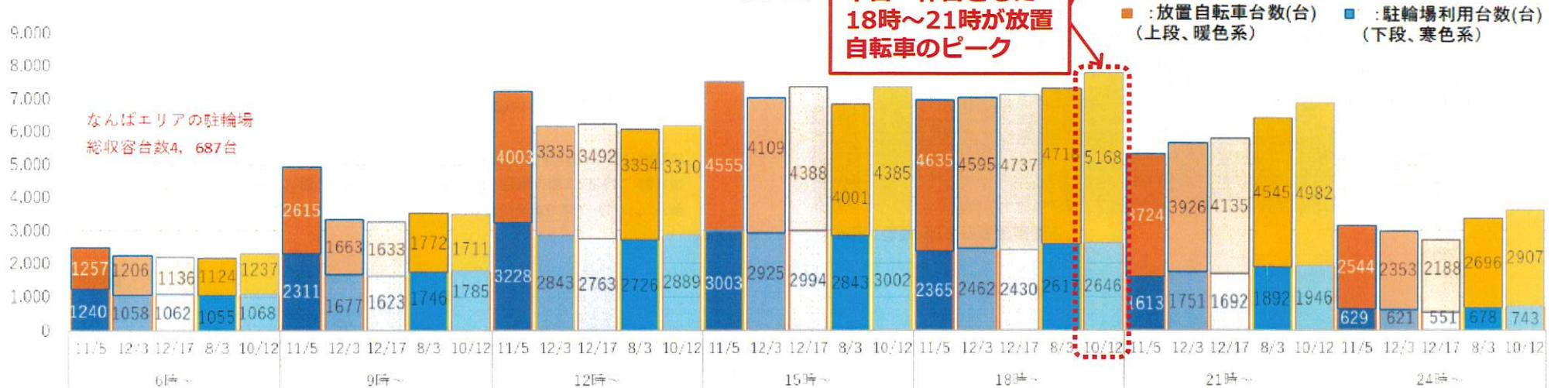
■エリア全体合計の放置自転車台数・駐輪場利用台数

※工事の影響で駐輪場総収容台数は調査時期で変化しているが最新の総収容台数を記載している

【平日】



【休日】



平日・休日ともに
18時～21時が放置
自転車のピーク

大阪市が撤去作業委託業者を公募、4月より業務開始予定

業務内容

(1)業務目的

大阪を代表する繁華街であるキタ・ミナミエリアでは、コロナ禍の収束により、インバウンド等による交通量の増加が著しく、放置自転車による歩行者の通行阻害が増すとともに、幅員の狭い道路では放置自転車によって、自動車が通行できなくなる等の恐れがあり、通行環境の改善が喫緊の課題となっている。

本業務では、同エリアにおける通行環境を改善することを目的として、平日及び休日の夕方から夜間における放置自転車等の啓発・撤去及び市民対応をはじめとした抜本的な放置自転車等対策として実施するものである。

放置自転車が増加する
夜間の撤去が可能に

(2)業務内容

主な業務内容は、下記のとおりである。詳細は、別紙「業務仕様書(案)」を参照すること。

- ①業務計画の策定
- ②啓発・撤去運搬
- ③市民対応
- ④動態調査
- ⑤業務報告

調査に基づく効率
的な撤去が可能に

(3)契約期間

令和7年4月1日～令和8年3月31日

(4)契約上限金額

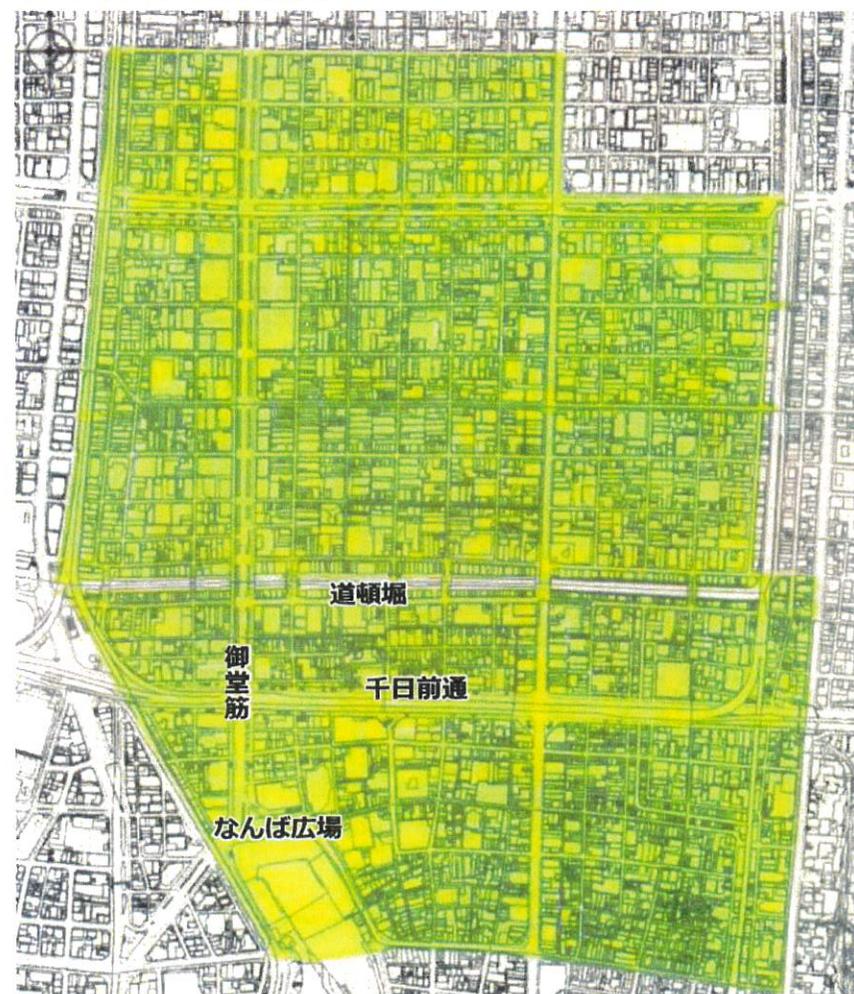
金 257,300,000 円(消費税及び地方消費税を含む)

スケジュール

・ 公 募 開 始	令和6年9月9日(月)
・ 質 問 受 付 締 切	令和6年9月 19 日(木)
・ 質 問 対 する 回 答	令和6年9月 26 日(木)
・ 参 加 申 請 関 係 書 類 の 提 出 期 限	令和6年 10 月 3 日(木)
・ 参 加 資 格 決 定 通 知	令和6年 10 月 8 日(火)
・ 企 画 提 案 書 の 提 出 期 限	令和6年 11 月 11 日(月)
・ 選 定 結 果 通 知	令和6年 12 月 上 旬(予 定)
・ 契 約 締 結 ・ 事 業 開 始	令和7年4月1日(予 定)
・ 事 業 完 了	令和8年3月 31 日(予 定)

中央区 啓発・撤去作業実施箇所

別図2



※上図は令和6年8月時点のものであり、当該エリアにおける禁止区域が変更された場合は、変更後のエリアによる。

※その他、詳細については監督職員との打ち合わせにより確認を行うこと。

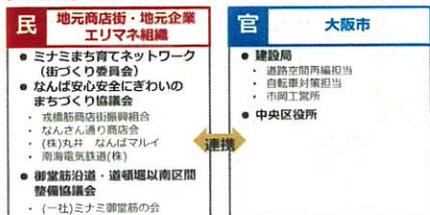
夜間撤去の開始にあわせて、3/27(木)に報道発表を予定

放置自転車対策ワーキンググループ取り組み報告

◆ミナミの放置自転車WGの歩み（2023年～）

これからは歩行者が安全、快適に回遊できるミナミのまちづくりが活性化に不可欠。2025年大阪・関西万博を見据え、抜本改善を図るべく2023年4月に官民で自転車対策ワーキングをスタート。

〔WG体制〕



〔WGの様子〕



◆現在の自転車対策ワーキングの取組方針と実施内容 『撤去』『調査・分析』『啓発』を自転車対策ワーキングの「3本柱」として推進

発生要因を把握した上で対策を試み、その効果を検証し施策につなげていく



撤去の効果的な運用

- リアルタイム撤去の継続的な実施
- 集中(連日)撤去の実施
- 撤去保管料の増額



放置自転車の実態調査

- リアルタイム撤去開始から約半年後の実態把握
- 撤去と啓発の効果検証



市民・商店の協力と啓発

- 駐輪場利用の促進
- 附置義務の遵守
- 調査結果の公表

効果や発生要因を分析

さらなる効果的な方策

新しい仕組みの検討

啓発活動の新しい展開

・自転車放置の理由についての調査では、「すでに道路上に放置されている」という回答が最も多く、駐輪場を増設しても問題解決には至らない。
・リアルタイム撤去・集中撤去の取組によって、駐輪場利用を促さず、むしろ市民の「自転車から徒歩へ」の行動変容の兆しが見られた。
⇒行動変容を促す、持続可能な繁華街ミナミ ～ウォーカブルエリア宣言へ～

◆2024年度の取組スケジュール

23年11月	12月	...	24年7月	8月	9月	10月	11月
リアルタイム撤去開始	集中撤去	...			集中撤去	大規模啓発	
撤去開始前調査	撤去開始後調査	調査1：撤去・大規模啓発前 放置自転車全数調査			調査2：撤去・大規模啓発後 放置自転車全数調査		

◆2024年度の取組内容

市民・商店の協力と啓発

◆官民連携での行動変容キャンペーンの取組み

- ・自転車WGにて、各対象者の特性に合わせた、行動変容を促す媒体戦略を、交通心理学の知見を取り入れ検討・作成し、地域連携で啓発を実施。
- ・記者説明については、テレビ局4社、新聞社1社が報道。

①エフ札

放置者に対して横を通る歩行者に見られて恥ずかしさを感じるようなデザインで制作。



②啓発チラシ・ポスター

チラシはミナミの商店街や事業所の事業者、ポスターは学生の放置対策として、自転車利用の抑制を図る。



③SNS広告

ミナミ周辺2km圏の自転車での来街が想定される10～40代女性を対象に、イベント告知と放置抑制、行動変容を訴える。3万人以上が閲覧。



④区広報

(中央区・西区・浪速区) 周辺住民に対し、ミナミにおけるキャンペーンを告知。



⑤折込チラシ

買い物等で自転車を使う人に対し、イベント告知と併せて放置抑制、行動変容を訴えるため、中央区・西区・浪速区の3区に配達される5紙で、計5万部を配布。



- ・ミナミの放置自転車対策の取組紹介と行動変容の促進、交通ルールや青切符制度(法令改正)について、ミナミの来街者、各マスコミを通して周知を行うことを目的として、なんば広場にてアルケル・イクルイベントを開催。
- ・クイズ回答者は340名以上など、参加者多数であった。



自転車おいてアルケル&イクルの状況

◆地元と行政が一体的に行っている取組

- ・千日前交番連絡協議会では地元、大阪市、警察が一体的に看板不法占拠や放置自転車を是正。
- ・地元が中心となり「春もきれいにinミナミ」「ミナミべっぴんプロジェクト」他、定期的なエフ札貼り等の啓発を実施。



ミナミべっぴんプロジェクト (2024年11月9日実施)



春もきれいにinミナミ (2024年4月20日実施)



千日前交番連絡協議会 (2024年10月10日実施)

夜間撤去の開始にあわせて、3/27(木)に報道発表を予定

放置自転車の実態調査

調査：撤去・大規模啓発前後の全数調査

■全体の傾向

- 全時間平均の自転車総数は、10月調査時の方が7・8月調査時よりも微増傾向（平日：△11%、休日：△6%）である一方で、駐輪場利用台数も増加。
- 戒橋筋商店街の歩行者数と比較すると、**自転車総数の増加率は9%少ない**（休日：歩行者△15%>自転車△6%）。

⇒**駐輪場利用・行動変容を促す啓発の効果**が見られた。

■平日の調査結果

- 集中撤去の実施から**1か月以上経過後も、撤去箇所の台数は減少傾向で、効果は持続している**。ただし**撤去箇所以外では増加している箇所**も見られる。
- 自転車総数は増加しているものの、駐輪場利用台数も増加。（平日18時台：7/24→10/9【△301】）

■休日の調査結果

- 平日同様、集中撤去箇所の効果は持続している。
- 自転車総数は微増。駐輪場利用台数はほぼ横ばい。

平日18時台の駐輪場利用状況

※自転車総数ピーク時

調査日	駐輪場利用台数	自転車総数	増減率
2024/7/24 (日)	2,776台	3,926台	61%
2024/10/9 (日)	4,395台	4,777台	39%

増減率：約300台増

調査日	駐輪場利用台数	自転車総数	増減率
2024/7/24 (日)	2,936台	4,395台	55%
2024/10/9 (日)	2,297台	4,777台	61%

増減率：利用された駐輪場が6%増

◆今後の自転車WGの取り組み予定

大イベント	24年11月	25年1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月
三ナミ自転車対策WGの発組	発組	発組	発組	発組	発組	発組	発組	発組	発組	発組
行政の取組	行政の取組	行政の取組	行政の取組	行政の取組	行政の取組	行政の取組	行政の取組	行政の取組	行政の取組	行政の取組

◆今後の自転車WGの取り組みについて

4

自転車対策WGの3本柱		
撤去の効果的な運用	放置自転車の調査・分析	市民・商店の協力と啓発
<h4>2024年7月～10月 施策の効果検証を実施</h4>		
<h5>施策内容</h5> <ul style="list-style-type: none"> ①道頓堀以南のミナミで約480台/月*の撤去を行い、昨年度より約180台/月増加 ②リアルタイム撤去の継続実施 ③9月には2箇所で集中撤去 	<h5>検証結果</h5> <ul style="list-style-type: none"> ①集中撤去の効果が1か月以上持続したが、撤去箇所以外では増加している場所もある。 ②自転車総数は増加。 ③撤去の無い夕方以降や休日は駐輪場利用が少ない。 	<h5>施策内容</h5> <ul style="list-style-type: none"> ①大規模啓発物の作成・配布（エフ札は捨てられにくかった） ②自転車啓発イベントの開催（340人以上が参加） ③取組をメディア4社が報道
<h5>課題</h5> <ul style="list-style-type: none"> ①撤去体制の強化 ②日時を変動させて撤去できる仕組みの構築 	<h5>課題</h5> <ul style="list-style-type: none"> ①集中撤去箇所拡大 ②時間帯・対象者別の駐輪場利用啓発の継続強化 ③休日・夜間の撤去 ④継続的な調査・検証 	<h5>課題</h5> <ul style="list-style-type: none"> ①店舗従業員の駐輪場利用促進 ②エフ札の改良による啓発効果向上 ③官民連携での啓発活動の継続的な実施とPR
<h4>今後の取り組み</h4> <p>令和6年度中に具体化し、令和7年度(万博年)に実行 持続可能な繁華街ミナミ～ウォークブルエリア宣言へ～</p> <h5>■検証の総括</h5> <ul style="list-style-type: none"> 市民の「自転車から徒歩へ」の行動変容の兆しが見られた。 ミナミはなんば広場や商店街等、「自転車押し歩き」が必要な道路がほとんどである。 <h5>■今後の方向性</h5> <ul style="list-style-type: none"> 「歩いて楽しい、ウォークブルなまちづくりのため、「ミナミには歩いてきてもらう」ことを大前提としつつ、自転車を利用する必要がある来街者には駐輪場の適切な利用を推進 <h5>■具体的な取組</h5> <ul style="list-style-type: none"> 自転車対策WGの3本柱の取組を万博時に試行 		
<h5>さらなる効果的な方策</h5> <ul style="list-style-type: none"> 撤去輸送の拡充 効果的な撤去に向けた官民の情報共有 夜間撤去(平日・休日)との情報共有 	<h5>新しい仕組みの検討</h5> <ul style="list-style-type: none"> 駐輪場の効率的運営検討 撤去～保管の仕組み検討 継続的な効果検証とFB 自転車啓発の仲間集め 新技術の活用による啓発の試行 	<h5>啓発活動の新しい展開</h5> <ul style="list-style-type: none"> 行動変容にむけたPR お悩みの地域どうしや市内の他箇所と連携 各種メディアでの周知 アンバサダーの起用による大規模PR